



## ゲートキーパーの設定

ゲートキーパー デバイスは、Cisco Multimedia Conference Manager (MCM) と呼ばれ、コール アドミッション制御、帯域幅割り当て、およびダイヤル パターン解決 (コール ルーティング) に使用される H.225 RAS (Registration, Admission, and Status Protocol) メッセージ セットをサポートしています。ゲートキーパーは、Cisco Unified Communications Manager クラスタと H.323 ネットワークの間の通信のためにこれらのサービスを提供します。Cisco Unified Communications Manager クラスタごとに、複数 Ã ゲートキーパー デバイスを設定できます。冗長化のために代替ゲートキーパーを設定することもできます。代替ゲートキーパーの設定の詳細については、Cisco Multimedia Conference Manager (MCM) のマニュアルを参照してください。

ゲートキーパーの設定は、次の 2 つの要素から構成されます。

- Cisco Unified Communications Manager の設定。各 Cisco Unified Communications Manager クラスタは、1 つまたは複数のゲートキーパーに登録できます。この章では、Cisco Unified Communications Manager でゲートキーパーを設定する方法について説明します。また、[トランクの設定 (Trunk Configuration)] ウィンドウでトランク デバイスを設定する必要があります。「[トランクの設定](#)」(P.93-1) を参照してください。
- ルータ上でのゲートキーパーの設定。この設定は、ゲートキーパーの役目をする Cisco IOS Multimedia Conference Manager (MCM) に適用されます。ゲートキーパー用に推奨されるプラットフォームは、Cisco IOS リリース 12.1(3)T 以上を搭載した Cisco 2600、3600、7200 ルータなどです。ゲートキーパーの設定については、MCM のマニュアルを参照してください。代替ゲートキーパー設定は MCM だけで行うので、Cisco Unified Communications Manager での設定は必要ありません。

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでのゲートキーパーの設定については、次のトピックを参照してください。

- 「[ゲートキーパーの設定値](#)」(P.90-2)
- 「[ゲートキーパーの検索](#)」(P.90-3)
- 「[ゲートキーパーの設定](#)」(P.90-4)
- 「[ゲートキーパーの削除](#)」(P.90-5)
- 「[ゲートキーパーのリセット](#)」(P.90-6)
- 「[ゲートキーパーの同期化](#)」(P.90-6)
- 「[関連項目](#)」(P.90-7)

## ゲートキーパーの設定値

ゲートキーパー デバイスは、Cisco Multimedia Conference Manager (MCM) と呼ばれ、コール アドミッション制御、帯域幅割り当て、およびダイヤル パターン解決 (コール ルーティング) に使用される H.225 RAS (Registration, Admission, and Status Protocol) メッセージ セットをサポートしています。ゲートキーパーは、Cisco Unified Communications Manager クラスタと H.323 ネットワークの間の通信のためにこれらのサービスを提供します。Cisco Unified Communications Manager クラスタごとに、複数のゲートキーパー デバイスを設定できます。冗長化のために代替ゲートキーパーを設定することもできます。代替ゲートキーパーの設定の詳細については、Cisco Multimedia Conference Manager (MCM) のマニュアルおよび『Cisco Unified Communications Solution Reference Network Design (SRND)』を参照してください。

ゲートキーパーの設定は、次の 2 つの要素から構成されます。

- Cisco Unified Communications Manager の設定。各 Cisco Unified Communications Manager クラスタは、1 つまたは複数のゲートキーパーに登録できます。この章では、Cisco Unified Communications Manager でゲートキーパーを設定する方法について説明します。また、[トランクの設定 (Trunk Configuration)] ウィンドウでトランク デバイスを設定する必要があります。「[トランクの設定](#)」(P.93-1) を参照してください。
- ルータ上でのゲートキーパーの設定。この設定は、ゲートキーパーの役目をする Cisco IOS Multimedia Conference Manager (MCM) に適用されます。ゲートキーパー用に推奨されるプラットフォームは、Cisco IOS リリース 12.1(3)T 以上を搭載した Cisco 2600、3600、7200 ルータなどです。ゲートキーパーの設定については、MCM のマニュアルを参照してください。代替ゲートキーパー設定は MCM だけで行うので、Cisco Unified Communications Manager での設定は必要ありません。



(注) Cisco Unified Communications Manager クラスタごとに、複数のゲートキーパー デバイスを設定できます。

表 90-1 では、ゲートキーパーの設定値について説明します。関連する手順については、「[関連項目](#)」(P.90-7) を参照してください。

表 90-1 ゲートキーパーの設定値

| フィールド                                       | 説明   |
|---|--|
| <b>[ゲートキーパー情報 (Gatekeeper Information)]</b> |  |
| [ホスト名/IP アドレス (Host Name/IP Address)]       | ゲートキーパーの IP アドレスまたはホスト名を入力します。これは必須フィールドです。<br><br>Cisco Unified Communications Manager クラスタごとに、複数のゲートキーパーに登録できます。     |
| [説明 (Description)]                          | ゲートキーパーの内容を表す名前を入力します。説明には、任意の言語で最大 50 文字を指定できますが、二重引用符 (")、パーセント記号 (%)、アンパサンド (&)、バックスラッシュ (\)、または山カッコ (<>) は使用できません。 |

表 90-1 ゲートキーパーの設定値 (続き)

| フィールド   | 説明  |
|---|---|
| [登録要求の存続可能時間 (Registration Request Time to Live)] | Cisco TAC から指示される場合を除いて、この値を変更しないでください。時間を秒数で入力します。デフォルト値は 60 秒です。<br>[登録要求の存続可能時間 (Registration Request Time to Live)] フィールドは、ゲートキーパーが Registration Request (RRQ; 登録要求) を有効であると見なす時間を指定します。キープアライブ RRQ は、RRQ Time to Live の期限が切れる前に、ゲートキーパーへ送信される必要があります。<br>Cisco Unified Communications Manager は、ゲートキーパーに RRQ を送信して、そのゲートキーパーに登録し、その後、そのゲートキーパーとの接続を保持します。ゲートキーパーは、要求の確認 (RCF) または拒否 (RRJ) を行います。 |
| [登録再試行のタイムアウト (Registration Retry Timeout)]       | Cisco TAC から指示される場合を除いて、この値を変更しないでください。時間を秒数で入力します。デフォルト値は 300 秒です。<br>[登録再試行のタイムアウト (Registration Retry Timeout)] フィールドは、登録しようとして失敗した後、ゲートキーパーへの登録をやり直すまで、Cisco Unified Communications Manager が待機する時間を指定します。  |
| [デバイスを有効にする (Enable Device)]                      | このチェックボックスを使用すると、このゲートキーパーを Cisco Unified Communications Manager に登録できます。デフォルトでは、このチェックボックスはオンになっています。Cisco Unified Communications Manager からゲートキーパーの登録を解除するには、このチェックボックスをオフにします。このフィールドを更新してから約 1 分以内に、ゲートキーパーの登録は解除されます。  |

## ゲートキーパーの検索

ネットワーク内にはいくつかのゲートキーパーが存在する場合があります。Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、条件を指定して、特定のゲートキーパーを見つけることができます。ゲートキーパーを見つける手順は、次のとおりです。



(注)

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、ブラウザセッションでの作業中は、ゲートキーパーの検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、ゲートキーパーの検索設定は保持されます。

### 手順

- ステップ 1** [デバイス (Device)] > [ゲートキーパー (Gatekeeper)] の順に選択します。  
[ゲートキーパーの検索と一覧表示 (Find and List Gatekeepers)] ウィンドウが表示されます。アクティブな (前回の) クエリーのレコードも、ウィンドウに表示されることがあります。
- ステップ 2** データベース内のすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認し、「**ステップ 3**」に進んでください。  
レコードをフィルタリングまたは検索する手順は、次のとおりです。

- 最初のドロップダウン リスト ボックスから、検索パラメータを選択します。
- 2 番目のドロップダウン リスト ボックスから、検索パターンを選択します。
- 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



**(注)** 検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。条件を追加すると、指定したすべての条件に一致するレコードが検索されます。条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した条件を削除するか、[フィルタのクリア (Clear Filter)] ボタンをクリックして、追加したすべての検索条件を削除してください。

**ステップ 3** [検索 (Find)] をクリックします。

一致するすべてのレコードが表示されます。[ ページあたりの行数 (Rows per Page)] ドロップダウン リスト ボックスから別の値を選択して、各ページに表示する項目の数を変更できます。



**(注)** 該当するレコードの横にあるチェックボックスをオンにして [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[すべてを選択 (Select All)] をクリックして [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックすると、この選択対象として設定可能なすべてのレコードを削除できます。

**ステップ 4** レコードのリストで、表示するレコードのリンクをクリックします。



**(注)** リストのヘッダーに上矢印または下矢印がある場合、その矢印をクリックして、ソート順序を逆にします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

#### 追加情報

「[関連項目](#)」(P.90-7) を参照してください。

## ゲートキーパーの設定

ゲートキーパーを追加または更新する手順は、次のとおりです。



**(注)** Cisco Unified Communications Manager クラスタごとに、複数のゲートキーパー デバイスを設定できます。

#### 手順

**ステップ 1** [デバイス (Device)] > [ゲートキーパー (Gatekeeper)] の順に選択します。

[ゲートキーパーの検索と一覧表示 (Find and List Gatekeepers)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** 次のいずれかの作業を行います。

- 新しいゲートキーパーを追加するには、[新規追加 (Add New)] ボタンをクリックし、「[ステップ 3](#)」に進みます。

- 既存のゲートキーパーを更新するには、該当するゲートキーパーを見つけます（「[ゲートキーパーの検索](#)」(P.90-3) を参照）。次に、「[ステップ 3](#)」に進みます。

**ステップ 3** 適切な設定値を入力します（[表 90-1](#) を参照）。

**ステップ 4** [保存(Save)] をクリックします。

#### 追加情報

「[関連項目](#)」(P.90-7) を参照してください。

## ゲートキーパーの削除

ゲートキーパーを削除する手順は、次のとおりです。

#### 始める前に

1 つまたは複数のトランクに割り当てられているゲートキーパーは、削除できません。ゲートキーパーを使用しているトランクを検索するには、[ゲートキーパーの設定 (Gatekeeper Configuration)] ウィンドウにある [関連リンク (Related Links)] ドロップダウン リスト ボックスから [依存関係レコード (Dependency Records)] を選択します。依存関係レコードがシステムで使用可能になっていない場合、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。依存関係レコードの詳細については、「[依存関係レコードへのアクセス](#)」(P.A-2) を参照してください。使用中のゲートキーパーを削除しようとする、Cisco Unified Communications Manager からエラー メッセージが表示されます。現在使用されているゲートキーパーを削除する場合は、事前に、次の作業のどちらか一方または両方を実行しておく必要があります。

- 削除するゲートキーパーを使用しているトランクすべてに、別のゲートキーパーを割り当てます。「[トランクの設定](#)」(P.93-62) を参照してください。
- 削除するゲートキーパーを使用しているトランクを削除します。「[トランクの削除](#)」(P.93-64) を参照してください。

#### 手順

**ステップ 1** 「[ゲートキーパーの検索](#)」(P.90-3) の手順を使用して、ゲートキーパーを見つけます。

**ステップ 2** 一致するレコードのリストから、削除するゲートキーパーを選択します。

**ステップ 3** [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。

確認のダイアログボックスが表示されます。

**ステップ 4** [OK] をクリックして、ゲートキーパーを削除します。

#### 追加情報

「[関連項目](#)」(P.90-7) を参照してください。

## ゲートキーパーのリセット

ゲートキーパーのリセットによって、物理デバイスがリセットされるわけではありません。ゲートキーパーのリセットは、Cisco Unified Communications Manager のゲートキーパーへの論理接続のリセットおよびゲートキーパーへの再登録を強制します。再登録の間および再登録が正常終了するまで、このトランクを使用して行われるコールは、このゲートキーパーを使用しますが、失敗します。ゲートキーパーをリセットする手順は、次のとおりです。



(注) ゲートキーパーをリセットしても、ゲートキーパーが制御しているすべてのコールが終了するわけではありませんが、新しいコールの試行は失敗します。

### 手順

- 
- ステップ 1** 「[ゲートキーパーの検索](#)」(P.90-3) の手順を使用して、ゲートキーパーを見つけます。
- ステップ 2** 一致するレコードのリストから、リセットするゲートキーパーを選択します。
- ステップ 3** ゲートキーパー デバイスの設定値を変更した場合は、[リセット (Reset)] をクリックします。  
[デバイスリセット (Device Reset)] ダイアログが表示されます。
- ステップ 4** 次のいずれかの項目をクリックします。
- [リスタート (Restart)] : 選択されたデバイスをシャットダウンせずに、再起動します (Cisco Unified Communications Manager に電話機とトランクを再登録します)。
  - [リセット (Reset)] : 内部ゲートキーパー デバイスをシャットダウンしてから再起動します。Cisco Unified Communications Manager クラスタは、ゲートキーパーへの登録を解除 (URQ) した後、再登録 (RRQ) します。
  - [閉じる (Close)] : 何も実行しないで、[デバイスリセット (Device Reset)] ダイアログを閉じます。
- 

### 追加情報

「[関連項目](#)」(P.90-7) を参照してください。

## ゲートキーパーの同期化

ゲートキーパーを最新の設定変更と同期させる手順は、次のとおりです。この手順によって、中断を最小限に抑えた方法で未処理の設定が適用されます (たとえば、影響を受けるデバイスの一部は、リセットまたはリスタートが不要な場合があります)。

### 手順

- 
- ステップ 1** [デバイス (Device)] > [ゲートキーパー (Gatekeeper)] の順に選択します。  
[ゲートキーパーの検索と一覧表示 (Find and List Gatekeepers)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 使用する検索条件を選択します。
- ステップ 3** [検索 (Find)] をクリックします。  
検索条件に一致するゲートキーパーがウィンドウに表示されます。

- ステップ 4** 同期させるゲートキーパーの横にあるチェックボックスをオンにします。ウィンドウ内のゲートキーパーをすべて選択するには、検索結果表示のタイトルバーにあるチェックボックスをオンにします。
- ステップ 5** [ 選択項目への設定の適用 (Apply Config to Selected) ] をクリックします。  
[ 設定情報の適用 (Apply Configuration Information) ] ダイアログが表示されます。
- ステップ 6** [OK] をクリックします。
- 

#### 追加情報

「[関連項目](#)」( P.90-7 ) を参照してください。

## 関連項目

- 「[ゲートキーパーの設定値](#)」( P.90-2 )
- 「[ゲートキーパーの設定](#)」( P.90-1 )
- 「[ゲートキーパーの検索](#)」( P.90-3 )
- 「[ゲートキーパーの設定](#)」( P.90-4 )
- 「[ゲートキーパーの削除](#)」( P.90-5 )
- 「[ゲートキーパーのリセット](#)」( P.90-6 )
- 「[ゲートキーパーの同期化](#)」( P.90-6 )
- 「[トランクの設定](#)」( P.93-1 )
- 『*Cisco Unified Communications Manager システム ガイド*』の「[ゲートキーパーとトランク](#)」

#### 参考資料

- 『*Cisco Unified Communications Solution Reference Network Design (SRND)*』
- Cisco IOS Multimedia Conference Manager ( Command Reference ) のマニュアル

